

## (9) 財団法人 鳥取県臓器バンク経営状況報告書

### 一 法人の概要

- 1 名 称 財団法人 鳥取県臓器バンク
- 2 目 的 臓器移植の普及を図るため、県内において臓器移植に係る啓発及び助成等を行い、もって県民の健康の増進及び福祉の向上に寄与することを目的とする。
- 3 組織変更認可年月日 平成11年3月25日  
(財団法人鳥取県腎バンク設立許可年月日 平成6年3月23日)
- 4 組織変更登記年月日 平成11年4月1日  
(財団法人鳥取県腎バンク設立登記年月日 平成6年4月1日)
- 5 基 本 財 産 出えん金 88,630,579円  
鳥取県出えん金 52,640,000円  
市町村出えん金 24,000,000円  
民間出えん金 11,990,579円
- 6 役 員 理 事 16人 監 事 2人  
理事長 井 藤 久 雄 (国立大学法人鳥取大学副学長)  
副理事長 岡 本 公 男 (社団法人鳥取県医師会会長)  
常務理事 林 由紀子 (鳥取県福祉保健部長)  
理 事 林 伸 伍 (社団法人鳥取県歯科医師会会長)  
" 小 林 健 治 (社団法人鳥取県薬剤師会会長)  
" 濱 副 隆 一 (独立行政法人国立病院機構米子医療  
センター院長)  
" 根 本 良 介 (鳥取県立中央病院副院長)  
" 竹 内 功 (鳥取県市長会会長)  
" 吉 田 秀 光 (鳥取県町村会会長)  
" 稲 垣 滋 (鳥取県銀行協会会長)  
" 有 田 勝 徳 (鳥取県中小企業団体中央会専務理事)  
" 安 本 大 治 (ライオンズクラブ336-B地区7  
区代表)

理事 石部 裕一（独立行政法人労働者健康福祉機構山  
陰労災病院院長）

〃 西尾 健治（鳥取県腎友会会長）

〃 露木 節子（社団法人鳥取県看護協会会長）

〃 紙谷 秀規（鳥取県立厚生病院副院長）

監事 藤本 英興（鳥取信用金庫理事長）

〃 内田 幸男（株式会社エミネット代表取締役社長）

7 職員 3人

8 事務所 米子市西町36番地の1

## 二 平成21年度事業実施状況

臓器移植医療についての理解促進を図るなど、様々な取組を行った。

### 1 臓器移植の普及啓発、臓器提供意思表示カードの配布

- (1) 街頭キャンペーンや各種団体が開催するイベントへの参加を通じて、臓器提供意思表示カードやグッズを配布することにより、臓器移植医療への理解促進を図った。
- (2) 県内の病院や福祉施設関係の職員、医療系の学生、一般企業、鳥取県西部広域行政管理組合消防局、市民団体を対象に研修会を実施。移植医療の歴史や実情、臓器移植法の改正点などについて、具体的な理解を求めた。
- (3) 鳥取ガイナレ意思表示カードを試合会場で入場者に3回配布。1テレビで放送、6新聞に掲載された。
- (4) 第2回グリーンリボン公開講座（市民公開講座）『移植医療を考える講演会とコンサート～つなぐ命の大切さを考えたい～』を鳥取市で開催（11月3日）。2新聞に掲載された。110名の参加を得た。また、鳥取県人権教育課の協力のもと、鳥取工業高等学校と共催で『つなぐ命の大切さを考える講演会とコンサート』を鳥取市で開催（2月19日）。2テレビで放送、2新聞に掲載。約400名の参加を得た。
- (5) 『移植を受けた子ども達の作品展』を東・中・西部で計35日間開催した。3新聞に掲載。4テレビで放送された。
- (6) 4月～8月まで日の丸バス24台に車内外両面ポスター広告を掲載。10月の臓器移植月間に山陰本線・因美線・境線にJR車両内中吊りポスター掲載。  
2月～3月に山陰本線普通気道車に額面広告掲載。
- (7) 鳥取県のテレビ番組『鳥取TRY』で鳥取県臓器バンクの活動が紹介された。
- (8) 臓器移植普及推進月間中に意思表示カードの周知・所持状況について、一般県民800人にアンケート調査を実施、アンケート結果をホームページにて一般公開した。
- (9) 鳥取県の人工透析患者数を把握するため、人工透析施設の協力を得て、人工透析の現況に関する調査を実施、調査結果をホームページにて一般公開した。
- (10) 鳥取県腎友会会員の協力を得て、透析患者の実態（就労状況、透析状況、腎移植、QOL等）調査を行い、実態把握に努めた。（248名から回答を得た。）
- (11) 鳥取県臓器バンクのオリジナル『タックメモ付き、マグネット』を作成した。

### 2 鳥取県腎友会への助成

人工透析患者とその家族の会『鳥取県腎友会』の学習会に対して助成した。

### 3 臓器移植コーディネーターの活動

(1) 日常業務

- ① 県内臓器提供施設の医療従事者に対し、臓器提供協力の拡充のために、定期的に巡回し理解と協力を得ることに努めた。
- ② 病院、各種団体等での講演を行うことにより、臓器移植医療への理解、協力を求めた。
- ③ 一般公共施設や団体等に伺い、移植医療の必要性を説明し、意思表示カード設置箱の設置依頼を行った。

(2) 臓器提供発生業務

ドナー情報は、1件提供されたが、心停止直前であり、本人の献体希望もあり、献体を優先された。また、一般情報を2件提供いただいたが、1件は回復され、1件は臓器提供の説明は行ったが、本人の希望により臓器提供に至らなかった。

4 その他

臓器バンクの活動報告のバンクだよりを決算承認後作成し、賛助会員等に配布した。

**財団法人 鳥取県臓器バンク**  
**収 支 計 算 書**

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
	円	円	円	
I 事業活動収入	13,433,000	12,173,982	1,259,018	
1 基本財産運用収入	944,000	942,795	1,205	
(1) 基本財産利息収入	944,000	942,795	1,205	
2 補助金収入	11,046,000	9,773,755	1,272,245	
(1) 県補助金収入	10,806,000	9,528,785	1,277,215	
(2) (社)日本臓器移植ネットワーク補助金収入	240,000	244,970	△ 4,970	
3 寄附金収入	2,000	0	2,000	
(1) 寄附金収入	2,000	0	2,000	
4 会費収入	1,435,000	1,455,000	△ 20,000	
(1) 賛助会員会費収入	1,435,000	1,455,000	△ 20,000	
5 雑収入	6,000	2,432	3,568	
(1) 雑収入	4,000	0	4,000	
(2) 受取利息収入	2,000	2,432	△ 432	
II 投資活動収入	40,000,000	40,000,000	0	
1 基本財産取崩収入	40,000,000	40,000,000	0	
(1) 基本財産取崩収入	40,000,000	40,000,000	0	
入				
当期収入合計(A)	53,433,000	52,173,982	1,259,018	
前期繰越収支差額	4,175,000	4,175,948	△ 948	
収入合計(B)	57,608,000	56,349,930	1,258,070	

科 目		予算額	決算額	差 異	備 考
		円	円	円	
支             出	I 事業活動支出	16,398,000	11,675,525	4,722,475	
	1 事業費支出	11,641,000	7,960,886	3,680,114	
	(1) 普及啓発費支出	3,315,000	1,230,183	2,084,817	
	(2) 臓器移植助成費支出	20,000	0	20,000	
	(3) コーディネーター活動 費支出	8,306,000	6,730,703	1,575,297	
	① 職員給与費	5,325,000	5,323,074	1,926	
	② 事業費	2,981,000	1,407,629	1,573,371	
	2 管理費支出	4,757,000	3,714,639	1,042,361	
	(1) 事務局費支出	4,664,000	3,655,349	1,008,651	
	① 職員給与費	2,602,000	2,251,792	350,208	
	② 事業費	2,062,000	1,403,557	658,443	
	(2) 会議費支出	93,000	59,290	33,710	
	II 投資活動支出	40,656,000	40,654,960	1,040	
	1 基本財産取得支出	40,408,000	40,408,000	0	
	(1) 投資有価証券取得支出	40,408,000	40,408,000	0	
2 特定資産取得支出	248,000	246,960	1,040		
(1) 退職給付引当資産取得 支出	248,000	246,960	1,040		
III 予備費支出	554,000	0	554,000		
当期支出合計(C)	57,608,000	52,330,485	5,277,515		
当期収支差額(A)-(C)	△ 4,175,000	△ 156,503	△ 4,018,497		
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	4,019,445	△ 4,019,445		

財団法人 鳥取県臓器バンク  
貸借対照表

(平成22年3月31日現在)

科 目	当年度	前年度	増減
	円	円	円
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	5,522,582	7,122,531	△ 1,599,949
流動資産合計	5,522,582	7,122,531	△ 1,599,949
2 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産定期預金	8,630,579	8,630,579	0
基本財産投資有価証券	80,367,200	80,000,000	367,200
基本財産合計	88,997,779	88,630,579	367,200
(2) その他固定資産			
退職給与引当預金	402,420	155,460	246,960
その他固定資産合計	402,420	155,460	246,960
固定資産合計	89,400,199	88,786,039	614,160
資産合計	94,922,781	95,908,570	△ 985,789
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	1,422,732	2,878,619	△ 1,455,887
預り金	80,405	67,964	12,441
流動負債合計	1,503,137	2,946,583	△ 1,443,446
2 固定負債			
退職給付引当金	402,420	155,460	246,960
固定負債合計	402,420	155,460	246,960
負債合計	1,905,557	3,102,043	△ 1,196,486
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	76,640,000	76,640,000	0
指定正味財産合計	76,640,000	76,640,000	0
(うち基本財産への充当額)	(76,640,000)	(76,640,000)	(0)
2 一般正味財産	16,377,224	16,166,527	210,697
(うち基本財産への充当額)	(11,990,579)	(11,990,579)	(0)
正味財産合計	93,017,224	92,806,527	210,697
負債及び正味財産	94,922,781	95,908,570	△ 985,789

### 三 平成22年度事業計画

#### 1 臓器移植の普及のための啓発

- (1) 全県下のイベントや講演会、移植推進月間キャンペーン、医療団体、市長村及びライオンズクラブ等が開催するイベント等への参加を通じて、臓器移植の普及啓発を行う。
- (2) 臓器提供意思表示カードや啓発パンフレットを県・市町村などの公共施設、行政機関、医療機関、学校、理事出身母体及び公民館等に配布する。
- (3) テレビ・新聞・県市町村広報・インターネット・ケーブルテレビ・ホームページ等の媒体を活用して、広報を行う。
- (4) 移植コーディネーターが各医療機関で研修会の実施や、定期的な巡回を行うことにより、臓器提供に対する理解及び協力を得る。
- (5) 教育現場への普及啓発活動の協力を得られるよう働きかけ、「臓器移植出前講座」を実施することにより、若年世代又は教職員等の臓器移植に関する正しい理解を深める。
- (6) 県内の中心的医療機関に臓器移植・提供に熟知した院内移植コーディネーターを設置し、院内移植コーディネーター会議を開催する。
- (7) 鳥取県の移植施設・提供施設の連携強化と院内マニュアルの改善・周知徹底を促す。
- (8) 臓器移植についてのグリーンリボン公開講座（市民公開講座）を倉吉市で実施する。
- (9) 『移植を受けた子供たちの作品展』と『移植者スポーツ大会の写真展』を東部・中部・西部で実施する。

#### 2 臓器移植に係る助成

- (1) 鳥取県腎友会の学習会経費に対して助成する。
- (2) 臓器提供が行われた時には、臓器提供者の遺族に対し香典を贈る。

#### 3 社団法人日本臓器移植ネットワークが行う臓器提供のあっ旋に対する協力

臓器移植コーディネーターは、社団法人日本臓器移植ネットワーク西日本支部と連携しながら、死体の臓器提供のあっ旋に対して、以下のような活動をする。

- (1) 臓器移植希望者に対し、登録申請のための支援を行う。
- (2) 西日本支部及び主治医と連絡を取りつつ、臓器提供可能者の脳死判定及び臓器提供に関する意思を確認するとともに、その家族に対して臓器提供についての説明を行う。
- (3) 組織適合性検査のため、臓器提供候補者の血液の確保とともにHLA検査センターへの血液搬送又はその手配を行う。また、摘出された臓器の搬送の手配を行う。
- (4) 臓器提供者の遺族訪問を行い、移植患者の事後報告を行う。

財団法人 鳥取県臓器バンク  
収 支 予 算 書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
	千円	千円	千円	
I 事業活動収入	12,746	13,433	△ 687	
1 基本財産運用収入	1,000	944	56	
(1) 基本財産利息収入	1,000	944	56	
2 補助金収入	10,522	11,046	△ 524	
(1) 県補助金収入	10,422	10,806	△ 384	
(2) (社)日本臓器移植ネット トワーク補助金収入	100	240	△ 140	
3 寄附金収入	122	2	120	
(1) 募金収入	122	2	120	
4 会費収入	1,100	1,435	△ 335	
(1) 賛助会員会費収入	1,100	1,435	△ 335	
5 雑収入	2	6	△ 4	
(1) 受取利息収入	2	2	0	
雑収入	0	4	△ 4	
投資活動収入	0	40,000	△ 40,000	
基本財産取崩収入	0	40,000	△ 40,000	
投資有価証券売却収入	0	40,000	△ 40,000	
当期収入合計(A)	12,746	53,433	△ 40,687	
前期繰越収支差額	4,019	4,175	△ 156	
収入合計(B)	16,765	57,608	△ 40,843	

科 目		予算額	前年度予算額	増 減	備 考
		千円	千円	千円	
支 出	I 事業活動支出	15,238	16,398	△ 1,160	
	1 事業費支出	10,371	11,641	△ 1,270	
	(1) 普及啓発費支出	2,740	3,315	△ 575	
	(2) 臓器移植助成費支出	20	20	0	
	(3) コーディネーター活動 費支出	7,611	8,306	△ 695	
	① 職員給与費	5,205	5,325	△ 120	
	② 事業費	2,406	2,981	△ 575	
	2 管理費支出	4,867	4,757	110	
	(1) 会議費支出	93	93	0	
	(2) 事務局費支出	4,774	4,664	110	
	① 職員給与費	2,513	2,602	△ 89	
	② 事業費	2,261	2,062	199	
	II 投資活動支出	248	40,656	△ 40,408	
	1 特定資産取得支出	248	248	0	
	(1) 退職給付引当資産取得 支出	248	248	0	
基本財産取得支出	0	40,408	△ 40,408		
投資有価証券取得支出	0	40,408	△ 40,408		
III 予備費支出	1,279	554	725		
当期支出合計(C)	16,765	57,608	△ 40,843		
当期収支差額(A)-(C)	△ 4,019	△ 4,175	156		
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	0	0		